

2018年度社会福祉士実習指導者講習会

事前課題

社会福祉士実習指導者講習会の受講が決定した皆様へ

『社会福祉士実習指導者テキスト 第2版』（中央法規出版／2014年）を読み、下記の4つの課題についてそれぞれ400字程度でまとめて、10月1日（月）までに、熊本県社会福祉士会事務局へ提出してください。

提出の際には必ず、受講番号、氏名、勤務先種別（*裏面参照）、受講会場、実習指導経験の有無をご記入ください。

なお、記載内容については、個人情報に配慮の上、講義で引用される場合があります。

◆パソコン（ワープロ書き）で事前課題を作成の場合

- ・提出用紙は熊本県社会福祉士会のホームページよりダウンロード可能
- ・提出用紙以外の書式でも提出可能（ただし、受講番号、氏名、勤務先種別、受講会場、実習指導経験の有無の記入、課題1～4それぞれ400字程度でまとめること）

◆手書きで事前課題を作成の場合

- ・同封の提出用紙を使用し作成
- ・熊本県社会福祉士会のホームページよりダウンロード後、印刷し作成

【課題1 実習指導概論】

後進の育成において、教育と現場は、どのように役割を分担し、どのように連携すればよいと思いますか。

【課題2 実習マネジメント論】

あなたの職場の実習生の受入体制について、整っている点、不足している点を整理して述べてください。

【課題3 実習プログラミング論】

『社会福祉士実習指導者テキスト 第2版』の第3章を読み、あなた自身の機関・施設において、どのような体験を盛り込んだ実習プログラムを作成する必要があると考えましたか。

■本講義は、以下の参考文献に準拠している部分も多くあるため、実習プログラミング論の理解をより深めたい方は、併せてお読みいただくことを推奨します。

- ・『社会福祉士実習指導者のための相談援助実習プログラムの考え方と作り方』（日本社会福祉士会編／中央法規出版／2015）

【課題4 実習スーパービジョン論】

あなたはこれまでにどのような実習スーパービジョンを行ってきましたか。実習指導経験が無い方は、ご自身が実習生の時のスーパービジョン経験をご記入ください。

※勤務先種別につきましては、下記をご参照ください。

勤務先種別
救護施設
児童福祉関係施設
身体障害者福祉関係施設
知的障害者福祉関係施設
精神障害者福祉関係施設
老人福祉関係施設
介護老人保健施設
婦人保護施設
社会福祉協議会
老人介護支援センター
福祉事務所
医療機関
行政機関
教育機関
相談機関
一般企業
独立型社会福祉士事務所等 (個人・合同・共同社会福祉士事務所、NPO 法人、有限会社等)
地域包括支援センター
その他(福祉公社、団体等) ※具体的にご記入ください。
勤務先なし